

---

# 麻生リトル・ラグーメン

---



神奈川県川崎市

麻生ラグビースクール

『平成28年度』一年間ありがとうございました!!

校長 三浦 幸宏

今年度も3月26日の卒業式のイベント残すのみとなりました。1年という月日の経つのが早いのに驚くと共に60歳を過ぎ早2年、残り少なくなった人生を1日1日大事に生きなくてはと思うこの頃です。

さて、28年度も4月3日より練習がスタートし1年の幕が開きました。子供達の安全を第一に考えた練習、そして子供達にとりラグビーが何より楽しみの一つになってくれる1年であればと思いました。

翌週の4月10日に総会が開催され28年度の人事・予算・事業計画が承認されました。今年も総会に先立ち父母会が開催され色々なご意見や質問がありました。私から麻生ラグビースクールの財政について説明させていただきご父母の皆様には校費について高いか安いかの質問をさせて頂きました。財政が厳しいようであれば校費値上げにも賛成するのご意見が多く出ました。有難く受け止めましたが、今年度は値上げをせずに子供達を一人でも多く入校して頂く事により財政が少しでも良くなる方法を選択する事にし、皆様にご理解を頂くと共に1年間のご協力を賜る事をお願いし閉会となりました。

今年度は技術指導コーチを2学年制から1学年制にし、怪我防止の為に体幹トレーニングや基本練習とスキル等の技術的サポートを担っていただきより一層のレベルアップを目指しました。そのおかげでしょうか？県大会では3・5・6年生がブロック優勝しました。

又、今年度は色々な新しい取組がありました。川崎市協会開催の八ヶ岳研修参加(2泊3日)、ミルキーミニ合宿開催(1泊2日)、川崎市協会新年会を川崎市RSと合同開催、6年生のヒーロズカップ参加と単独大阪遠征。この試みは若いコーチや学年コーチからの意見が多く、麻生ラグビースクールが少しずつ変わっていくのではと期待し許可しました。取組には一長一短があります。今後を良く見据えていく事が大事であり見守って行きたいと思っております。

小学部・中学部を卒業するみんなおめでとう！君たちが麻生ラグビースクールでラグビーを通して学んだ、優しさ・礼儀・忍耐・助け合い等これから必ず役立ちますので忘れないで欲しい。そして夏合宿での厳しい練習の事、声が小さいと何度も云われたこと等々乗り越えた事も素晴らしい事です。遣りきった自信と誇り、そして勇気を持ち麻生ラグビースクール出身者として胸を張って下さい。何事にも手を抜かず一生懸命に取り組む事が大事です。

今後の君たちの活躍を楽しみにしています。

最後に、保護者の皆様やコーチの皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

『28年度』一年間ありがとうございました！

## 平成28年度のまとめ

幹事長 加賀 司

3/26の卒業式を残して、全ての行事が終わります。

麻生ラグビースクールの役員・コーチの方やご父母の皆さんの多大なご協力を頂き、無事に1年間を終えることができることに感謝いたします。どうもご苦労様でした。そしてありがとうございました。

- ・今年度を振り返りますと3月末9人+4月以降に26人と昨年の27人からは増です。  
 昨年のラグビーワールドカップの影響よりは、数回の体験会の開催等募集活動を実施した効果です。
- ・年少: 境コウタ、村松シンノ、竹淵リュウイチ君の3人と幼児の森永ゲンキ君の1人
- ・年中: 曾根キイチ、水田シンノスケ、吉田ミツキ、石橋タイガ君の4人、石橋君は休校中
- ・年長: 昨年3月入校で荻久保レン、佐野トキカズ、岸田リョウ、小林テツタ、宮本リクト  
 藤田ケンシロウ君の6人、4月から荘司タイチ、近藤ユウマ君、大村アナさんの3人
- ・1年: 原田ヨウヘイ、可児リョウスケ君の2人
- ・2年: 昨年3月に和田イツキ君、4月から龍エイノスケ、加藤ソラ、森永タイキ君の3人
- ・3年: 昨年2・3月に佐上カイト、星野ケンゴ君の2人、4月から君村カイ、浜田ルイ、  
 金田タケカズ、金田アキカズ君の4人
- ・4年: 竹内ヒロオキ、田口ケンスケ君、近藤ユズハさんの3人
- ・5年: 明石ハルキ君、毛利サホ、君村アイさんの3人
- ・中学には楠元、斎川、菅田、原田、土方、卯月、芝田、高橋、佐藤仁、佐藤祐、石野、畑佐、  
 奥川、佐々木、古川、黒須、夏川、石井、森下君の19人が卒業し、10人弱がDAGS進級予定。
- ・中学3年は古田、斎藤、海老原、熊谷、野村、山崎陸君の6人が卒業しました。
- ・新人コーチは矢部隆之介、細谷、宮本、原田惇平、円能寺、佐野、山田、岸田、水田、竹淵の10人でした。  
 3月末での退任コーチは津国、野村、宮内、井上、宇野、木下、休職が金、川原、大滝さんです。  
 長い間、ご指導頂き、ありがとうございました。
- ・7月に父母会主催の食育セミナーを新百合ヶ丘のトウエンティワンにて管理栄養士の森川育子様にて「子供達の成長と食事」について開催し、約50名の父母が参加されました。
- ・12月の県協会主催の運動会にて伊藤、山本、宮澤コーチが永年功労表彰されました。
- ・1月8日に行われた恒例のもちつき大会は6年父母と5年父母による前日からの仕込みにより  
 つきたてのお餅と豚汁及び綿菓子を提供し、150名程の参加者全員に満足して頂きました。
- ・2月18、19日には海老名陸上競技場にて6年ミニファイナルカップが開催され、予選リーグは2位でカップ戦に出場しましたが、初戦の茅ヶ崎に21:28の僅差で負けました。  
 カップ戦は横浜と藤沢が14:14の同点となり両スクール優勝、3位横須賀市  
 プレート戦は新潟が優勝、北上が準優勝、グリーン・横浜YCが3位  
 ボール戦は鎌倉が優勝、秦野が準優勝、3位福島選抜でした。

「平成29年1月8日 餅つき大会の様子」



以上

## 卒業生へ

技術指導 米元 勇一郎

6年生のみんな、卒業おめでとう！

みんなとは4年生の時と今年の2年間一緒にラグビーをすることが出来ました。

みんなはラグビーの色々なテクニック・スキルに興味を持ってくれたね。新しいことをどんどん吸収しようという気持ちはとても大切なので、これからもその気持ちは持ち続けてください。

また、練習でやった新しいことを、すぐに試合で出してくれた時、コーチは嬉しい思いでいっぱいでした。ありがとう。

反対に時には厳しいことも言ってしまったかもしれないね。でも、コーチがどういう時に厳しいことを言っていたかを思い返してみても、それは基本プレーを適当にやっていたり、コンタクトの練習でふざけていたり、出来ることをやらなかったりした時が多かったんじゃないかな。

「基本」の練習は大人になってもずっと続きます。これを真面目にやらない人は上手になれません。新しいプレーをするには基本が出来ていなければいけないからです。

「コンタクト」はこれからどんどん強度が強くなっていきます。怪我する可能性があるので絶対にふざけてやらないでください。

「出来ることをやらない」のはサボっているだけです。グラウンドでは常に100%出すことを心がけてください。そうすることでどんどん上手くなります。

このことは頭の片隅で良いので覚えていてね。

コーチもまだまだ勉強中です。みんなと過ごした経験を次の6年生に活かしていきます。みんなも麻生での経験を次のステージに活かしてください！！

中学になって、今よりもレベルの高い質問をしに来てくれるのを楽しみにしています！

## 勉強会あれこれ(6)

4年コーチ 佐藤 満弘

麻生ラグビースクールにもイジメがありました。私が経験したのは2回です。皆さんも経験していますか。こればかりは原因、対策といったものが仲々みつかるものではありません。勉強会の仲間には年度・学年などは伏せて話しました。

### <イジメがありました>

今から何年か前の夏合宿のとき、イジメが発生しました。その内容は\*\*\*\*\*

夏合宿が終わって練習が始まり、当事者二人を個別に呼んで事情を確認しました。

両者ともに加害者であり、被害者であることを認めました

加害者に対して“仲間だろ。お互いに助け合っていかなければいけないチームにいるのだから”と思いをこめて一言。

被害者には、“今後、発生しないように努力はするが何かあったらすぐに連絡を”と。加害者には助っ人がいましたが、関与度が小さかったので不問にしました。

余人を交えず、両者と私だけで話し合った。結果はチーフコーチと校長にのみ報告しました。

### 後日談①

この子供たちが卒業するときに寄せ書きをもらいました。

“タバコは止めてください”、“長生きしてね”、“最強のラグビー爺さんに”とやさしいことばかり。

悪ガキどもは心のやさしい子供たちでした。

### 後日談②

この子供のなかから5人が西生田中学にいきました。わが娘の母校でもあります。

西生田中学では、体育の時間に希望者にタッチラグビーをさせることにしました。

何回か、矢部コーチと参加し、指導、レフリーをしました。

担任の先生が“麻生ラグビースクールを出た子は礼儀正しいし、手がかかりません”と言ってくれました。

”未来を背負う若者づくり”の道がチョット見えました。

### <おわりに>

この勉強会は、練習場所が商船三井、日大稲城グラウンドと変わるなかで自然中断となりました。レフリング、ルール問題、コーチングと盛りだくさんの中身でしたが、皆さんから積極的な問題提起があり、非常にみのりある勉強会となりました。

今後もこのような機会があれば、是非参加したいと考えています。

また、これをやることにより、ルール練習問題、ミニラグビーのコーチングなどの資料を作ることができ、私自身もありがたく思っています。

### 【編集委員より】

佐藤コーチの勉強会あれこれは今回で終了です。

## DAGS



卒業おめでとう・・・

DAGS (中学) コーチ 小坂頼史

DAGS 卒業の皆さん。3年間、お疲れ様でした。そしてご父母の皆様、卒業おめでとうございます。今年の DAGS は、本当に大変でした。秋季大会は毎回、人数がそろいかどうか不透明で当日まで分からない状況。選手の中で受験勉強を選択し今までレギュラーだった子供たちが練習不参加。練習人数も少なく、試合を行うのも 12 人ぎりぎりの状態でした。

秋季大会の結果は、8 チーム中 7 位の成績でした。決して弱いチームではありませんでしたが、試合しか参加できない子もいて みんなそろってのチーム練習がほとんどできませんでした。中学生のチーム作りの難しさを改めて実感しました。

卒業試合 卒業式は、みんな笑って迎えることができ、ほっとしています。卒業後はほとんどの子供はラグビーを続けるそうです。色々ありましたが、みんなラグビーが好きなんだなあ・・・と思いました。

中学ではあまり良い思い出が無いかもしれませんが、でもここで知り合った仲間は君たちの宝です。大事にしてください。これからも目標意識をしっかり持って頑張ってください。

親への感謝の気持ちを忘れずに『ありがとう』って気持ちを伝えましょう。

機会があればグラウンドに来ていっしょに汗を流しましょう。後輩の指導もお願いします。

いい男になって

DAGS コーチ 曾我 浩

ご父兄の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私も長い付き合いの子は 10 年くらいになります。

小さい頃は、グラウンドについたとたんに、「体調不良」となり、終わって着替える頃には喜々として「元気戻る」子たちも、この中学 3 年間で、大きく成長しました。

小 3 の首平合宿でホームシックになって、「山を下りる！！」と駄々をこねた子も、無理やりバスに乗らされて、車酔いとたたかった？子も、きつい練習になるとすぐにテントに横たわった子も、全員が自分の「居場所」を探しながら、最後は「ワンチーム」になりました。

試合には、あまり勝たせてあげられなくて、申し訳ないと思いますが、それにも関わらず、最後までラグビーを続けてきた子供たちは、よく頑張ったと思います。

まだまだ、手がかかる年代ですが、麻生、DAGSの経験は、きっと生きると思います。

親御さんとしては、話しかけてもあまり返事をしてくれなくて、さびしいかもしれませんが、それだけ新しい世界に入っていったと思って、見守ってあげてください。これからもよろしく願います。

みんな、卒業おめでとう。

小学校卒業の時に、三浦校長から、「小学校は修了で、DAGSを3年間続けてやっと卒業」だと、激励され、中学3年間がんばったね。

これから、高校、大学、社会人と、いろいろな人たちと、いろいろな世界がみんなを待っています。大人になったら、いい男になって欲しいと思います。

「顔がいい」とか「アタマがいい」とか「要領がいい」とかではなくて、いつか誰かにみんなのことを聞かれたら、「あいつはいい男です」と云えるように、どんなことにも真っすぐがんばる大人に成長してもらいたいと思います。

曾我コーチも、DAGS 3年間お世話になりましたが、みんなと一緒に卒業します。

4月からは、小学校1年生を担当しますので、日大稲城Gにはいると思います。

自慢話でも、苦労話でもいいから、いつでも遊びにきてください。

とにかく「いい男」になれよ！

#### 卒業

DAGS 3年 海老原 翔空

麻生での思い出はやはりファイナルカップだとおもいます。一年生からぼくはラグビーやっていたはじめた頃は全然試合に出ることもできませんでした。ですが練習していくうちにどんどんうまくなり試合に出ることができました。

そしてファイナルカップでは予選で全部勝ち4位という結果でとても嬉しかったです。とてもいい試合ばかりで、やっていた自分も楽しかったです。しかし卒業試合で怪我をしてしまい、手術をしました。

そこで親にラグビーやめればと言われたり自分でもすごく悩みました。しかし一緒にやってきた仲間が支えてくれDAGSに入ることができました。そしてキャプテンになることができました。

県大会では結果は良くなかったけどとてもいい試合ができ、後輩にいいものを残せたのではないかと思います。ここまでやってこれたのはコーチに仲間、そして家族が支えてくれ今にいたることができました。

本当にありがとうございました。

#### 中学校のラグビー

DAGS 3年 古田 空

僕は中学校の三年間、自分の欠点である走力をカバーするために、ラグビー偏差値の向上とハンドリングの強化を主に意識しました。FWでパスが投げられると高校でも有利になると思ったので常にボールに触れるようにしました。ラグビー偏差値の向上をさせるために、たくさんラグビーを見て、自分のものにしようと思った。しかし、努力は実らず、神奈川県選抜から落ちてしまいました。

理由は、走力不足。

そのときは、自分の考えの甘さを痛感させられました。自分の弱点をカバーするのではなく、弱点を克服しなければいけなかったのだと。けれど、後悔はしていません。なぜなら、中学校の三年間は高校につながるようなラグビーをしたいと考えていたからです。

中学校の三年間では努力が報われることはありませんでしたが、これが高校では生きることを信じながら、日々の練習を取り組んでいきたいと思います。三年間ありがとうございました。

#### 卒業

DAGS 3年 野村 和幸

3年間神奈川 DAGS でラグビーを続けて、とても楽しかったです。練習はつらく大変でしたが、今思えばどれも良い思い出です。

三年生の時、良い結果を残すことが出来ずとても悔しかったので、高校ではもっと上に行けるように頑張ります。一、二年生は練習に励み良い成績が残せるよう頑張ってください。

卒業おめでとうございます

DAGS 2年 吉田 隼輔

3年生の皆さんご卒業おめでとうございます。

3年生はキャプテンだけが引っ張るチームではなく、チームを全員が引っ張るチームでした。

今後もDAGSはチームを全員で引っ張るチームとしてやって行きたいと思います。

時間があればDAGSの練習に来て下さい。また一緒にラグビーが出来るのを楽しみにしています。

今まで本当にありがとうございました。



## 6年生



### 小学部卒業おめでとう

チーフコーチ 伊藤 信一

6年生の皆さん、ご父兄の皆さん、小学部卒業おめでとう御座います。  
幼稚部からのメンバー、小学生になってから入校した子、一旦はスクールから離れてもまた戻って来た子、一昨年5年生になってから入校した子まで、全員が本当に立派に成長をし、見事に最後までやり抜いてくれました。

6年生になってからは見違える様に成長をしてくれましたね。新6年生になっての春、新学年での初の練習会で、新キャプテン楓が、全生徒の前で、「お早うございます！！」の挨拶をした時、メンバーの顔つきは麻生RS最高学年としての自覚がでたなと感じる瞬間でした。

試合は好きだけど、練習はあまり好きじゃない・・・

そんな君たちを如何伸ばしてあげようかと考え、機会があればとにかく外へ出ようと決めて、この一年間は多くの対外試合を組みました。出稽古をしながら武者修行の様な感じで、実戦のなかで経験値を積み上げながら本当に強く逞しくなっていました。

また遠征には極力チームで纏まって公共交通機関を利用する様にしました。電車等での移動時間にメンバー同士のコミュニケーションの向上を図りチーム力を上げる。ラグビー以外の面でも公共交通機関を利用することで社会性を育む事も出来ました。

最後の仕上げはスクール史上初の関西遠征、ラグビーを通じて関西文化にふれ、多くの関係者に出会いラグビー交流をしました。関西の地で“麻生ラグビースクール”の名を広めることもできたのかな？そんな

点ではスクールの知名度、認知度アップに貢献もできたかとも思います。

次代を背負う若者たち、もっともっと外へ出よう！！

まもなく2019年RWC、2020年東京オリンピックと世界的規模のスポーツイベントが身近で行われます。今まで以上に海外の人たちとの交流が増え、君たちが社会で活躍するところにはさらにグローバル化が進み、国内のみでなく世界で戦う場面が増えてくるでしょう。

“麻生から世界へ！！”これから、いろいろな事にチャレンジをし、楽しみ、苦しみながら成長を続け、君たちが大きな舞台で活躍する日が来るのを期待しています。

最後に、この学年を担当して6年間、本当に色々な経験しながら多くの事を学ばせていただきました。これも、ご父兄の皆さんの多大なるサポート、6年生コーチ陣、スクール関係者、県協会関係者、日大関係者、対戦スクールの選手たちやその指導者の皆さん、多くのラグビー関係者の方々があっての事と感謝いたします。何よりも、この6年間、毎週末、多くの感動と勇気を与えてくれたミニラガーマンたち皆さんに感謝いたします。本当にありがとうございました。

ラグビー続けて(関わって)ネ！

コーチ 外岡 幸隆

6年生選手の皆さん、ご父母の皆さん 卒業おめでとうございます。

県大会以降、ヒーローズカップ予選、ファイナルカップと、強豪との対戦では、結果が出せませんでした。チーム力は格段にアップし、全員が、自分の「持ち味」を出せたと思います。

6年生の卒業号には、毎回書いていますが、ラグビーを通して得た仲間は、「一生の宝」です。これから、中学に進み、ラグビーを続ける子、別の道にチャレンジする子いると思いますが、何らかの形で、ラグビーに関わっていれば、また出会いがあります。外岡コーチも、まだグラウンドにいると思いますので、声をかけてください。

小学生の部の卒業を迎えて

コーチ 武井 智之

麻生ラグビースクールでコーチをするようになって15年、担当学年4回目の卒業生を送り出すことになる。毎回「今回の卒業生は最高にいいやつらだった」と思えることは本当に幸せだと思う。

子供たちに求められるラグビースキルは年々高く激しいものになっているのは間違いない。それに反比例して、こちらの体力気力は衰えが目に見えるスピードで上がっている。それは、とても悲しく寂しい。いつまでも君たちにタックルしていきたい。

伊藤組の仲間は、特別なスター選手もいない、特別足の速い選手もいない、特別でかい選手もいないとても地味なチームだったかな。しかし、上手な選手も自慢することなく、上手いかない選手をけなすこともない、最後には高まりあう良い関係性のチームであったと思う。

これから、中学高校と進みラグビーと離れる子いると思うが、ラグビーでつながった仲間は一生の友達になれると思います。8年後にみんなでお酒を飲めることを楽しみにしています。

卒業おめでとう。そして一緒にラグビーをしてくれて本当にありがとう。

最後に、ご父兄の皆様、大切なご子息を大きな声で激励(かな)し続けてすいませんでした。本当に好きになれた子供たちだからできたことでした。ありがとうございました。

## 麻生ラグビースクールでの思い出

6年 黒須 楓

僕が思い出に残っていることは2つあります。

1つ目はキャプテンになった事です。

最初の頃はアフターマッチファンクションで話す事ができなかったけれど、ファイナルカップでは声を大きく出す事が出来ました。

2つ目は合宿の事です。練習はとても辛かったけれど、それをみんなで乗り越えてきた事がとても良い思い出です。お母さんやお父さんが水分補給の準備をしてくれていた事にはとても感謝しています。

僕は5歳から麻生ラグビースクールでラグビーを始めました。

ラグビーはとても激しいスポーツだけど、とても楽しいスポーツだと思うので中学生になっても続けて行きたいです。ありがとうございました。

## 麻生ラグビースクールでの6年間を振り返って

6年 高橋 遼成

ぼくは小学一年生でラグビーを始めました。

始めたきっかけは幼稚園が一緒だった楓に誘われたからです。

1・2年の時の練習はあまり覚えていないけれど、練習が楽しみで雨で中止になるととてもつまらない気持ちになっていたことは覚えています。

3年生で初めて夏合宿に行き6年生に優しくしてもらい4年の夏合宿もとても楽しみにしていました。

でも4年生の合宿ではつらい練習の後の最初のジャンボリーの試合で骨折をしてしまいました。

「ボキッ」って音がして立とうとしても立てない。最初は何が起きたのかわからず痛いのがグラウンドから運び出されて試合に出られないことが悔しくて涙が止まりませんでした。この骨折で二か月入院し4年生の間は試合にも練習にも出られませんでした。でもコーチや仲間が病院に来てラグビーの話をしてくれたり、励ましてくれたので練習に戻れるのがとても楽しみでした。

新6年生になりバイスキャプテンに選ばれました。まさか選ばれると思っていなかったけど僕をラグビーに誘ってくれた楓がキャプテンに選ばれたので僕はしっかり楓を支えようと思いました。

6年生は県大会、ヒーローズカップ、ファイナルカップとたくさんの公式試合に出場しました。

県大会は全勝優勝しとても嬉しかったです。

ヒーローズカップは関東大会で優勝したら全国大会で花園ラグビー場で試合ができるという楽しみな大会でしたが、準決勝でしながわバンブーに負けてしまいました。勝って全国大会に行きたかったからとても悔しかったです。

ファイナルカップはカップ戦まで行けたけど負けてしまいました。決勝戦をみてもっともっとうまくなりたいと思いました。

ジュニアになったらヒーローズカップやファイナルカップで負けた悔しさを思い出して、練習を頑張りたいと思います。

## 麻生での1年間

6年 石井 晃

僕は麻生ラグビースクールに来てまだ一年間しかたっていません。しかし、たった一年間だけで合宿や県大会やファイナルカップ、そして大阪遠征等のたくさんの経験をすることができました。

麻生のコーチ達や僕たちの親がいなかったら、こんなにいつも楽しくてそれでも負けたら悔しくて、仲間がみんな面白くて大笑いしながらラグビーを続けることはできなかつたと思っています。

特に最後の大阪遠征は花園ラグビー場で横浜RSが東大阪に一点も入れさせなかつたのには驚きました。本場のたこ焼きもおいしくて最高でした。

中学校に入ったらDAGSで一生懸命練習を積んで強豪チームとあたつても負けない心と体を作りたいです。

この一年間、みんなと楽しくラグビーができたことを嬉しく思っています。本当にありがとうございました。

## 6年間のラグビーでの成長

6年 石野 創太郎

軽い気持ちでラグビーに入った1年生のころは、試合などもあまり実感がなく、負けてばかりだった。しかしコーチが一生懸命教えてくれたことと、努力を続けたことで強くなれた。

6年生になってからは、試合もたくさんさせてもらい、ラグビーがよりいっそう好きになった。そして県大会でも優勝し、大阪に行くという貴重な経験ができ、さらに成長できたと思う。

ラグビーでは、仲間のために体を張るということも教わった。3、4年生のころから意識し始めて、今年は強いタックルをきっかけに菅平賞を取ることもできた。ラグビーのおかげですごく成長できた。それに、すごく楽しかった。これからも続けていきたいと思う。

## スクールに入ってから今までの思い出

6年 卯月 快杜

僕がスクールに入ってから今までで一番印象に残っているのは、3～6年生の夏合宿です。なぜ、夏合宿が一番印象に残っているのかというと、夏合宿では技術面だけでなく「限界まで何かをすることの良さ」を学んだからです。

僕は合宿に行く前は、限界まで何かをすることとは、ありませんでした。ですが、3年生の夏合宿で限界まで練習をしたことで、限界まで何かをすることの良さを学びました。これから、何かにチャレンジする時は、ラグビーで学んだ「限界まで何かをすることの良さ」を生かしていきたいです。

## 麻生ラグビースクールでの5年間を振り返って

6年 奥川 煌星

僕がラグビーをやっていた中で、一番心に残っているのは、6年生の時の菅平合宿です。合宿はそれまでとは違い、練習もハードで、毎日一番最後までグラウンドに立ち続けていたという印象があります。班長も務めさせていただき、皆をまとめなきゃと思いつつも、朝、起こしてもらったこともあり、追い詰められた気分のまま、とても長い合宿に感じました。でも、仲間と試合に出たり、BBQをしたり、花火を見たり、とても楽しい合宿でした。

ラグビーは、練習でやった事が、試合で出来るとチームなんだなあと感じます。麻生RSと一緒にプレーした仲間は、これからもずっと仲間だと思って、頑張ります。

#### 麻生ラグビースクールでの10年間を通して

6年 楠元 隼

麻生ラグビースクールをやり始めたのは2歳のときでしたそのころはまだ真剣に参加していなくてよく、練習場にある林のところで遊んでしまっていました。しかし、年長のころになってしっかりと練習するようになりました。小学生になるにつれて、多くの仲間が入ってきました。

4～5年生は、長野県に、山村留学に、行っていてラグビーができていませんでした。

6年生に帰ってきてから頑張って練習して何とか試合に出ることができました。また、関西に行って大会を見たりして楽しかったです。これもすべてコーチのおかげです。ありがとうございました。

#### 卒業

6年 斎川 春朗

ぼくは幼稚園から始めて、8年間やってきました。

最初はむりやり連れられて、いやいややっているとつまらなかった。だけど、やっていくうちに楽しくなっていくって好きになりました。

最初の夏合宿はきつくていやだったけれど、上手くなっていったよかったです。

3年生の時に県大会に出て、結果はそんなに良くはなかったけど、6年の県大会で優勝できてよかった。ファイナルカップではカップ戦で1回戦目で負けてしまったけど、カップ戦に慣れて良かった。大阪ではヒーローズカップを見れてよかった。レベルが高くてうまかった。

この8年間は中学でラグビーをする時に役立てれば良いと思いました。コーチ、今までありがとうございました。

#### 麻生ラグビースクールの6年間を振り返って

6年 佐藤 祐太郎

1年生の頃、友達に誘われて入りました。

最初の方はあまりやる気がなかったけれど、3年の時の夏合宿からすごく練習できるようになりました。そして6年の県大会では優勝できて、とても嬉しかったです。ファイナルカップに向けての練習ではみんなの士気も上がりカップ戦に進めました。コーチのみなさん6年間ありがとうございました。

#### 卒業に向けて

6年 佐藤 仁紀

ぼくは、一年生からラグビーを初めました。ラグビーはルールが難しいまでも分かっていないところがあります。ラグビーでつらかった事は雨に日の練習や、夏合宿でした。

でもがんばれたのはずっといっしょに練習をしたきたメンバーがいたことや、一生けんめい指導してくれたコーチや、やさしく見守ってくれたお母さんたちがいたからだと思います。

5、6年になってからは練習が厳しくなったけど、試合でタックルが決まったり、ボールを持って走ることができたのは、うれしかったです。6年間本当にありがとうございました。

## 全力

6年 菅田 光真

ぼくは4才のころからラグビーをやっていましたが、あまり活躍できていませんでした。ですが最近、ファイナルカップでトライをとったり、大阪遠せいで相手をいかせないようにねばったりと、少し活やくできるようになったと思います。なので、残り少ししかないけど全力でがんばって、3月19日の藤沢戦で活やくしたいです。そして、気持ちよく卒業したいです。

約8年間お世話になったコーチのみなさんありがとうございます。ぼくは中学生になったらラグビーをやらないかもしれないけど、これからもがんばります。今までありがとうございました。

麻生ラグビースクールでの1年と10か月を振り返って

6年 夏川 凌一

やってみなかったラグビーをやり始めて、最初はただ楽しいだけだったけど、プレーをおぼえていくうちに、もっとうまくやりたいと思うようになり、どうしたらいいかを考えるようになりました。実際にできた時もあったけど、できないことがまだまだあるので、この卒業で終わらせずにこれからも一つ一つできるように頑張っていきたいと思います。

麻生ラグビースクールの六年間を振り返って

6年 原田 康誠

麻生ラグビースクールでの六年間で、ぼくは、仲間の大切さを学ぶことができた。

僕は5年生の時にキャプテンをやった。その時はキャプテンになったので、チームが勝っているときも負けているときも、ひたすら声を出し続けることを心掛けた。するといつでも、仲間がみんな僕の声に反応してくれて嬉しかったし、絶対に声を出し続けようと思えた。また、キャプテンなのにうまいプレーができない僕をチーム全員がカバーしてくれて、キャプテンだからうまくなければいけないと思っていた気持ちを楽にしてくれた。

そして6年生になって、今度はキャプテンをサポートする側になった。自分なりに声を出し続けて、キャプテンをサポートすることができたと思う。

僕はこの6年間、本当に、本当にいい仲間と一緒にラグビーをできた事をほこりに思うし、幼稚園、低学年のころから指導してくれたコーチ、試合や合宿など色々な行事でサポートしてくれたすべてのお母さん、お父さん達に心から感謝したい。そしてこの6年で学んだ仲間の大切さや感謝の気持ちを忘れずに、中学生活につなげていきたいと思う。

最後に6年間、本当にありがとうございました。

麻生ラグビースクールでの6年間を振り返って

6年 畑佐 健太郎

僕が6年間ラグビーをやってきて一番思い出に残っていることは夏合宿です。なぜなら合宿でのきつい練習をやり終えた時の達成感を今でも覚えているからです。合宿最終日のランパスなどきつい練習を耐えてきたので、個人としても、チームとしても成長できたと思います。

もう一つ思い出に残っていることは6年生で行った関西遠征です。関西のラグビーチームと試合をしたり、花園ラグビー場でファイナルカップの決勝戦を見たことはとてもいい経験になりました。チームのみんなと大阪観光できたのも楽しかったです。

僕は途中練習に参加できないこともあったけど、たくさんの仲間と、たくさんの思い出ができて、最後までラグビーを続けてきて本当に良かったです。

#### 七年間を振り返って

6年 土方 将嗣

ぼくの思う麻生ラグビースクールでの七年間はとても長く感じました。色々なことがありました。まず入って一年目は、幼稚園でやっていたラグビーとはまったくやり方が違い、ルールもよくわかっていませんでした。なのでボールをもらったらずいどうしていいのかわからなくなることがありました。

入って二年目を飛ばして三年目、新しい仲間もふえてラグビーのルールも少ずつわかってきました。このころは、まだボールを持ったらずいどどつてしまし、すぐにタックルされてしまいました。

入って四年もすると、ポジションを決まりハーフになりました。このころは、正しい判断をするまで少し時間がかかりました。この年に一番思い出にのこる出来事がありました。多摩ラグビースクールとの試合の時のジャンピングトライです。このトライは今、三年間たった今でもわすれていません。

五年目は、試合もかなり激しくなり、だんだんとラグビーが楽しく感じてきました。そしてポジションの仕事もしっかりできるようになりました。それとハーフからのパスがきれいに決まると、とても気持ちよかったです。

六年目は、ハーフとしての仕事もしっかりできるようになり、フォワードをしっかり動かすことができるようになりました。またこのころの思い出は、今まで一緒にいた竹川コーチが大阪へ行ってしまう、とても悲しかったです。

七年目は、ファイナルカップ、ヒーローズカップ関東予選がありました。また夏合宿では、前の年大阪へ行ってしまった竹川コーチが菅平に来てくれて、とてもうれしかったです。またヒーローズカップ関東予選では準決勝までいくことができるともよかったです。ファイナルカップでは、初戦、相模原に勝ちカップ戦へすすむことができました。それとヒーローズカップを見に行くために、みんなで大阪まで行きました。この日の行きの新幹線の中がとても楽しかったです。

この七年間をふり返ってみると、昔はできていなかったことが七年たつてできるようになることができました。このようになるために、色々な人が関わってくれています。

今、ラグビーをはじめて七年目。これからも八年九年とたくさんラグビーをしていきたいです。

#### 麻生ラグビースクールで の4年間を振り返って

6年 古川 達也

僕は、麻生ラグビースクールに3年生の夏合宿前に入校しました。始めたばかりの頃は、ルールも分からなかったし、タックルするのも怖いと感じました。しかし、練習を重ね、段々と色々なことが出来るようになり6年生では、県大会でブロック優勝をする事が出来ました。とても、うれしかったです。

これまで、たくさんの事を教えて下さったコーチの皆様、本当にありがとうございました。中学生になっても今の仲間とDAGSで頑張りたいです。

## 麻生ラグビースクールありがとう

6年 森下 響介

僕はラグビーを始めて1年ちょっとです。それまでラグビーの経験が全くなかったぼくは、早くみんなと同じようにラグビーができるようになりたくて、どの練習も一生懸命頑張る努力をしました。1回肩を痛めた時からタックルが怖くなって、試合では思い切り相手に向かっていけなくなった時期もあったけど、お父さんにタックルのコツを教えてもらい、沢山練習をしたので、今ではタックルに向かっていけるようになりました。

目標に向かって一生懸命練習することの素晴らしさや楽しさをラグビーを通して感じることができました。そして、何よりも思い出に残るのは、コーチの皆さんやチームのみんなが、新人として入った僕を温かく迎えてくれたことです。

コーチの皆さんはいつも僕をはげましてくれました。チームのみんなは、話しかけてくれて、遊びに誘ってくれました。とてもうれしかったです。コーチの皆様、毎週の練習ありがとうございました。

ラグビーの楽しさと楽しさを教えてもらいました。チームの皆は僕にとって仲良く信じあえる大切な仲間です。

これからもずっとこの仲間たちと一緒にラグビーをやっていきたいです。  
麻生ラグビースクールに入ってよかった！ ありがとうございます！！

## 感謝の一年

石井 晃の母 石井 愛

まずこの一年、右も左も分からなかった我々親子を寛大な心で受け入れてくださったことを皆さんにお礼申し上げたいと思います。

試合に負けた帰り道に息子が悔し泣きをしているのを見たとき、こんな感情を抱くこともできるようになったのだなあ、と嬉しく思ったのを覚えています。

大阪遠征ではお忙しい中段取りをしてくださった皆さんにも頭の下がる思いでした。大阪のスクールとの練習試合の後、ひとりの子に「また試合しに来てね」と握手をされたことにとっても感動したそうです。

勝ち負けだけではないんだ、と思い知らされた出来事だったようです。  
これからも長く続く友情であってほしいと願っています。  
校長はじめコーチの皆様、保護者の皆様には感謝の心でいっぱいです。一年間ありがとうございました。

## 卒業にあたって

石野 創太郎の母、石野裕子

思えば小学校入学の頃、息子は「サッカーをやる」と決めていました。ところが色々なスポーツの体験に連れて行ったところ「ラグビーをやりたい」と言い出しました。広々とした緑のグラウンドを思い切り走り、ぶつかっていく姿に何か感じるものがあったようです。それが、麻生ラグビースクールとの出会いでした。

低学年の頃は、皆でボールの周りに固まり、誰かがボールを取ったら一人でゴールまで駆け抜けるワンマンプレーをしていました。それが今では仲間を信じてボールを託す、繋ぐプレーを何度も見せてくれるようになりました。いつから変わってきたのでしょうか。皆の少しずつの変化が合わさって、いつの間にか大きなチームに成長していました。



いつも子どもたちのことを考え、温かく見守ってくださるコーチの方々、協力的で楽しいお父様方、細やかな心遣いをくださるお母様方、息子は麻生ラグビースクールの皆様に育てていただきました。心から感謝しています。そして、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

#### 卒業にあたって

奥川煌星 母

ラグビーを始めた頃のまだ幼い煌星は、ボールを取り合うゲーム性、全力疾走の気持ち良さなど、色々な事が新鮮なのか、真っ正面からコーチに飛び込む元気な子で、見ているこちらもしっかりビクビクしたりしていました。口の中を切ったり乳歯が取れても笑っていて、頼もしいなあと思ったものです。学年が上がるにつれて、痛みを憶え、駆け引きを知り、また同時にやっていた水泳の忙しさなどもあり、かつての猪突猛進な元気の良さは影を潜めてしまったように感じます。それでもラグビーの面白さを楽しみ、仲間と繋がっていたいという気持ちもあり、なんとか卒業までこれたのは、皆様への感謝しかありません。

練習や合宿のみならず、電車移動や打上げなど、社会と関わり世界を拓げ、素敵な経験をさせていただきました。まだまだこれから彼の世界は拓がり続けていきますが、麻生RSでのあらゆる時間が糧となり心の支えとなってくれと確信しています。たくさんの思い出とかけがえのない仲間を、ずっと大切に、ゆっくりでも走り続けて欲しいと思っています。最後になりましたが、コーチの皆様、保護者の皆様、お世話になりありがとうございました。親の私にとりまして大変思い出深い日々でした。

#### 卒業にあたって

卯月快社の母 卯月有加

6年生のみなさん、ご家族のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

三浦校長、伊藤コーチをはじめ、コーチの皆様、6年半という長い間、お世話になりました。快社が初めて麻生ラグビースクールに誘って頂いたのは、2歳の時でしたが、その時は、まさか我が子がラグビーをするようになるとは想像もできませんでした。その数年後、保育園の年長の時に練習の見学に行ったことをきっかけに麻生ラグビースクールに入校させていただくことになりました。2年生くらいまでは、「なんの練習が楽しかった？」と聞くと、「整理体操」とか、「相撲」と答えていたようなわが子ですが、3年生ごろから、「オーバーを頑張る」などと言うようになり、少しずつラグーマンらしくなってきたように思います。試合の時も、低学年の頃は、ボールの行方を遠巻きに見ていた様子でしたが、だんだんと試合に参加している感じになってきました。特に何か目標や志をもってラグビーを始めたわけではなかったのですが、6年半の間、続けてこられたのは、優しいコーチたちに恵まれ、仲間たちがみんな仲良く、そして、子供だけでなく、私ども親も他の親御さんたちに助けていただいたおかげだと感謝しております。

麻生ラグビースクールでは、ラグビーについても、たくさん教えていただきましたが、親子ともに人間として成長させていただいた部分がたくさんありました。練習・試合・合宿・スクールの行事等、どれもかけがえのない経験で、これからの人生において大きな糧になっていくと思います。

息子を麻生ラグビースクールに入れて本当によかったと思っています。お世話になったコーチの皆様、お父様・お母様方、6年生の子供たちに心から感謝しています。これで卒業にはなるけれど、いつまでも仲間であってください。これからもよろしく願いします。

10年間、お世話になりました。

楠元 隼の保護者 楠元 剛

初めて日大稲城グラウンドを訪れたのは、2007年4月22日。息子、隼は2歳3か月でした。隼が通う保育園に麻生ラグビースクールの在校生がいたことがご縁となつての体験参加でした。人工芝の緑が一面に広がるグラウンドを目にし、「こんなに恵まれた環境で練習できるなんて、隼は、幸せだなあ」と思ったことを覚えています。

通い始めた頃は、父親の姿が見えなくなるとすぐに泣き、練習に飽きると脱走し、グラウンドでの練習よりも、周辺でボールを蹴ったり、花摘み、虫取りをしたりする時間のほうが長かったように思います。

ラグビーについては、ほとんど観戦の経験もない保護者ふたりでしたので、ラグビースクールでスポーツの楽しさと、ひとつのことを継続することの大切さを学んでほしいと願い入校させていただきました。泣きながら走り終えた初めての400m走、全然勝てないボール捕り、負ける度に流れる悔し涙、お菓子やジュースをもらった時の満面の笑顔、仲間とじゃれる笑い声、タックル！、トライ！、10年間、毎週日曜日の思い出は、日大稲城グラウンドの中にあります。

ラグビーから学んだ、たくさんしたこと、巡りあわせていただいた、たくさんの方々を心の財産にして、これからの人生を前へ前へと進んでいってくれることと思います。

最後になりましたが、三浦校長をはじめコーチのみなさま、保護者のみなさま、素晴らしい環境を提供していただいた日大稲城グラウンド関係者のみなさまに、心よりお礼を申し上げます。

ありがとうございました

齋川 春朗の母

父親に連れられて、兄と一緒に初めてグラウンドに行ったのは春朗が年中の時でした。

最初の3ヶ月ほどは挨拶、自分の名前すら言えなかったそうです。

私自身、日曜の早起き(今思うと特に早起きというほどの時間じゃないですが)は嫌だったし、まだ1歳前の子もいていつまで続くかと思っていました。

ですが、年々、仲間とボールを追いかけている子供達を観ているのが楽しくなりました。菅平合宿、お餅つき、そしてファイナルカップ、とってもいい思い出です。

6年生になった今は、父親の背も越え、時折たくましいプレーも見られるようになりました。

いつもマイペースで、周りを困らせることもありましたが、コーチ、保護者の皆さんに見守られて大事な大事な8年間を過ごしてきたのだと感謝しています。親子共々大変お世話になりました。

ありがとうございました。6年生のみんな 卒業おめでとう！

卒業にあたって

佐藤 祐太朗の母、佐藤 成江

1年生からお世話になり6年間、

三浦校長、伊藤コーチをはじめ、指導して下さったコーチの方々、本当にありがとうございました。

親とは違う目線でいつも子ども達を見て下さって感謝の気持ちでいっぱいです。

子ども達の頑張る姿を見るのが楽しみでグラウンド、試合には足を運んでました。

同じ学年の子どもたちの成長も一緒に見れて、私もとても楽しい6年間でした。ありがとうございました。

## 感謝

菅田 光真 父

光真が年中さんの時、体験で日大グラウンドに行き、環境の素晴らしさ、コーチの熱意に触れ、一発で虜になってしまいました。「親が」です。最初は親が行くからついていくといった状態でしたでしょうか。そんな光真ですが、麻生ラグビースクールにグラウンドの内外で育てていただき、色々な経験をさせていただきました。

初めて出た試合でトライをとったこと。試合中ジャンケンをしていて交代させられたこと。試合に負けて悔しくて泣いたこと。チャージが出来たこと。ナイスタックルが出来たこと。トライが取れたこと。試合に勝ったこと。負けたこと。つらくても練習を抜けてテントに入らなかったこと。妹と練習したこと。仲間と合宿したこと。ザリガニとったこと。本場のたこ焼きを食べたこと。他にも、数えきれないたくさんの思い出と経験をさせていただきました。

親としてはやきもきする部分も多々ありましたが、光真なりに真剣にラグビーと向き合い、卒業まで足かけ8年継続できたことはとても誇らしく思います。

これもひとえに、暖かく、時に厳しく我慢強く長年ご指導いただいたコーチの皆様、グラウンドの内外でフォローいただいたご父母の皆様、そして何よりも仲間として一緒に苦楽を共にしてくれた6年生のチームメートの皆様に感謝申し上げます。有難うございました！

## 息子の卒業にあたって

畑佐 健太郎の父 畑佐 欣哉

小学1年生の夏、友達に誘われて参加した体験入部から、思いがけなく息子のラグビー生活がスタートしました。最初は、一人一人がボールを持って走り回るだけでしたが、徐々にチームらしくなり、息子の目標も「トライがしたい」から「試合に勝ちたい」ということになり、精神的にも大きく成長していきました。

日々の練習、交流戦、県大会、夏合宿などを通じて、日々成長していく姿を頼もしく思い、何より、コーチの皆さまの熱意ある指導に厚く御礼申し上げます。

この春をもって、息子は麻生RSを卒業することになりますが、これからも家族一同、麻生RSのファンとして応援させていただきたいと思います。

6年間一緒に貴重な時間を過ごさせて頂いた、コーチの皆さま、6年生のメンバーのみんな、ご父兄の皆さま、ありがとうございました。

## 息子の卒業にあたって

原田 康誠の父 泰治

早いもので、小学生生活が終わりを迎えようとしています。上の子もお世話になっていた事から、半強制的にラグビーを始めさせたのが小学校1年生でした。当時、私もコーチとして関わらせて頂いており、『まあ、体を動かす良い機会だ！』との軽い思いから、サッカーに興味を持ち始めた息子を無理矢理入校させた事を鮮明に覚えております。その為か、サッカーへの思いも捨てきれず、暫くはサッカー優先の生活で、3年生の時はサッカーに専念したいと私に直訴し、一年間休校させて頂きました。

しかし、4年生で復帰して間もない時期にCanon CUPで優勝し、勝つ事の喜びを味わってからは、ラグビーが生活の中心になった気がします。その後も、とても良い仲間と良いコーチに恵まれ、また、優しいご父兄の温かいご支援のお蔭で6年生まで続けられたのだと感じております。

その中で、子供ながらに『何か』を身に着け、感じ取ってくれれば、親としては十分だと考えております。

中学では一旦、ラグビーから離れる決断をしているようですが、ラグビースクールで得た仲間はきっとこれからも仲間として続くと思います。新しい事へのチャレンジの時は、仲間の事を思い出しながら、何事にも恐れることなく自分の世界を進んで行ってもらいたいと思います。

最後になりますが、これまでご指導頂きましたコーチの皆様、ご父兄の皆様、そして息子を支えてくれたスクール生の皆様に心より御礼申し上げます。有難うございました。

#### 素敵な仲間との出会い、そして卒業

古川 達也の母 古川 美紀

伊藤コーチをはじめ、ご指導下さったコーチの皆様、本当にありがとうございました。達也は、3年生でラグビーを始めましたが、3年生の頃はルールを覚えられず、それでも試合に出してもらいましたが、よく反則をして、笛を吹かれていたのを思い出します。そんな息子の事を温かく支えてくれたコーチ、チームメイトのおかげで、これまで続けることが出来たのだと思います。

6年生になってからは、さらに仲間意識が芽生え、練習や試合の時は真剣に、終わってからは、集まって遊ぶことが多くなり、本当に良い仲間に出会えたことを親としてもうれしく思います。

達也は、自分からDAGSに行くことを決めました。それも、今のメンバーと一緒にまだまだラグビーがしたいからだと思います。麻生ラグビースクールで教わったことを大切に、みんなと頑張ってください。ありがとうございました。卒業おめでとう！！

#### 息子の卒業にあたって

夏川 凌一の母 夏川 晶子

ラグビーを始めて1年と10か月ですが、いろんなことに関して随分と成長したと思います。プレーに関して、ただ好きでプレーしている状況からどうやったらうまくなるのか、何をしたらいいのかなど自分自身で考えながらプレーするようになっていったかと思います。またプレー以外にも精神的にも強くなったかと思います。まだまだ凌一自身の課題はたくさんあるかと思いますが、卒業で終わりではなく、これからも一つ一つ出来るように頑張ってください。





1年生の頃



## 試合結果

### ファイナルカップ

日時:2017年2月18日(土)、19日(日)  
会場:海老名運動公園陸上競技場

#### 1日目

第4試合 Dグループ 相模原5●対○68麻生  
第8試合 Gグループ 麻生7●対○48横須賀市

1勝1敗でカップ戦へ

#### 2日目

カップ戦 茅ヶ崎28○対●21麻生  
交流戦 大和・さがみ49○対●21麻生

### ■カップ戦トーナメント■

■カップ戦トーナメント■  
優勝:藤沢RS、横浜RS ※引き分け両チーム優勝  
3位:横須賀市RS

■プレート戦トーナメント■  
優勝:新潟市JRS  
準優勝:北上RS  
3位:グリーン・横浜YC

■ボウル戦トーナメント■  
優勝:鎌倉RS  
準優勝:秦野RS  
3位:福島県RS選抜

### 東西交流大会

日時:2月25日(日)12:00~15:40  
会場:立命館大学

BKCグリーンフィールド  
(滋賀県草津市野路町)

参加:麻生,枚方,大阪,大津(5年)  
内容:12:00~14:00 クリニック  
14:00~15:30 対抗戦

対戦結果:各12分,キックなし

麻生 △10-10△ 枚方  
麻生 ○20-15● 大阪  
麻生 ● 5-20○ 枚方  
麻生 ●20-25○ 大阪



























---

麻生リトルラガーマン NO. 111

発行日／平成 29 年 3 月 18 日

発行者／三浦 幸宏(042-338-7536)

編集長／野田卓人(044-281-9788):E-メールアドレス tactn@me.com

副編集長／小松正巳

編集委員／外岡幸隆・京屋宜正・大原広生・牛山健太郎・千秋杉雄・室井秀夫・曾我浩

写真撮影／宮澤秀毅・金聖雄

表紙題字:元全日本監督 日比野弘氏 ホームページ <http://asaors.com/>